

平成27年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オービス
 コード番号 7827 URL <http://www.orvis.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年3月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中浜 勇治
 (氏名) 井上 清輝

TEL 084-934-2621

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年10月期第1四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第1四半期	1,525	△29.3	49	—	46	—	31	25.2
26年10月期第1四半期	2,158	△2.9	△27	—	△58	—	25	—

(注) 包括利益 27年10月期第1四半期 31百万円 (19.2%) 26年10月期第1四半期 26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第1四半期	18.39	—
26年10月期第1四半期	14.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年10月期第1四半期	7,611	1,543	20.3	891.69
26年10月期	7,702	1,529	19.9	883.47

(参考) 自己資本 27年10月期第1四半期 1,543百万円 26年10月期 1,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年10月期	—	—	—	—	—
27年10月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,702	△23.8	146	27.0	134	88.2	89	△41.9	51.88
通期	7,839	△15.0	280	△43.2	244	△40.2	222	△82.1	128.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年10月期1Q	1,732,000 株	26年10月期	1,732,000 株
② 期末自己株式数	27年10月期1Q	898 株	26年10月期	898 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年10月期1Q	1,731,102 株	26年10月期1Q	1,731,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済状況の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年11月1日～平成27年1月31日）のわが国経済は、為替円安の恩恵と合理化効果により自動車や電機を中心に企業業績が好調に推移し、世界的な原油価格の値下がりも追い風となり、平成26年10～12月期の国内総生産が消費税増税後の景気の落ち込みから3期ぶりにプラスに転じるなど、景気はゆるやかな回復を見せ始めました。

このような環境のもと、当社グループは、木材事業における安定的な生産と適正価格による製品販売を行うことで収益の確保に努めてまいりました。

木材事業におきましては、輸出用梱包材が低迷を続け、国内物流用の木製パレットや土木建設仮設用材にも回復が見られない中、唯一好調を続けていた通信関連用の電線ドラム用材の荷動きにも陰りが見え始め、梱包用材の受注環境は総じて厳しいままに推移いたしました。また、中国経済の成長鈍化により原木FOB価格は安定して推移したものの、平成26年10月31日の日銀による大規模な金融緩和が決定されたことにより、為替が急激に円安に動いたことで、原材料コストは急上昇いたしました。

このような環境のもと、本社工場（広島県福山市）において市場の動向に合わせた安定的な生産を行い、適正価格による製品販売を行うことで利益の確保に務めると共に、同工場から運賃コストがかかる関東・東海地区に対しては、杉・檜材等の国産材の商材販売を強化することで既存の販売チャネルを維持し、収益の確保に努めてまいりました。

その結果、売上高は11億67百万円（前年同四半期比72.8%）、営業利益は1億21百万円（前年同四半期比627.4%）となりました。

ハウス・エコ事業のハウス部門におきましては、居住用の民間建築は消費税増税後の落ち込みから回復が見られないまま推移したものの、震災の復興やアベノミクス、オリンピック効果等により非居住用建築は民間・公共を問わず堅調に推移しており、建設業界の受注環境は好調のまま推移いたしました。

このような環境のもと、長年プレハブ事業で培って来たノウハウにより顧客の細かなニーズに丁寧に対応することに加え、増加する公立学校の耐震工事に伴う仮設校舎や放課後児童クラブ等の中・大型入札案件の獲得に注力すると共に、工種毎の厳しい原価管理によりコストダウンを図り、収益力の向上に努めてまいりました。

エコ部門におきましては、再生可能エネルギーに対する政策の大幅な見直しにより、産業用太陽光発電事業の採算性の低下が懸念されることとなり、受注環境は急激に悪化いたしました。

このような環境のもと、商談から施工までの期間が比較的短い低圧案件の受注の取り込みに注力すると共に、長い期間を要するメガクラスの大型案件につきましては、継続的に細かな営業努力を行い受注の獲得に繋げることで、収益の確保に努めてまいりました。

また、自社の太陽光発電所につきましても随時工事を開始しており、当連結会計年度末には、現在稼働中のものも含めて合計で約4.2メガワットの発電所が稼働する見込みであります。

上記の結果、売上高は2億31百万円（前年同四半期比65.9%）、営業損失は36百万円（前年同四半期は営業損失26百万円）となりました。

アミューズメント事業のカラオケ部門におきましては、企業業績の改善に比べ、個人消費はいまひとつ盛り上がり欠ける中、大手カラオケ事業者が市場の寡占化を図るため店舗数を増やし始めたことにより、業界内で出店競争が加速し、市場におけるシェア争いは激しいままに推移いたしました。

このような環境のもと、将来の人口減少懸念による今後のカラオケ市場の将来性を考慮し、事業の選択と集中を図ることで当社グループの更なる業績の向上を図るため、カラオケ事業を縮小することとし4店のカラオケ店舗を営業譲渡いたしました。

ゴルフ場部門におきましては、積雪等の天候不良によりクローズ日が増加し、来場者数は減少いたしました。

その結果、売上高は1億5百万円（前年同四半期比57.3%）、営業損失は3百万円（前年同四半期は営業利益7百万円）となりました。

不動産事業の賃貸物件におきましては、不動産情報誌への継続的な広告を行うことにより、安定した稼働率を確保し、収益の向上に努めてまいりました。

なお、売買の引渡物件はありませんでした。

その結果、売上高は21百万円（前年同四半期比105.8%）、営業利益は14百万円（前年同四半期比119.5%）となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15億25百万円（前年同四半期比70.7%）、営業利益は49百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）、経常利益は46百万円（前年同四半期は経常損失58百万円）、四半期純利益は31百万円（前年同四半期比125.2%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して90百万円減少し76億11百万円となりました。その主な要因は仕掛品が2億51百万円、原材料及び貯蔵品が2億12百万円それぞれ増加し、現金及び預金が90百万円、その他（主に前渡金）が3億30百万円、建物及び構築物が1億12百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して1億4百万円減少し60億68百万円となりました。その主な要因は短期借入金が増加し、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して14百万円増加し15億43百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月期の連結業績予想につきましては、平成26年12月11日の「平成26年10月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	763,377	673,142
受取手形及び売掛金等	1,973,527	2,006,363
リース未収入金	702,623	645,676
商品及び製品	58,544	73,941
販売用不動産	283,805	283,812
仕掛品	122,805	374,248
原材料及び貯蔵品	140,487	352,758
その他	501,258	170,507
貸倒引当金	△1,388	△1,667
流動資産合計	4,545,040	4,578,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	540,421	427,870
機械装置及び運搬具（純額）	116,499	145,417
土地	2,102,197	2,102,196
その他（純額）	123,168	138,126
有形固定資産合計	2,882,287	2,813,611
無形固定資産	34,126	31,702
投資その他の資産		
投資有価証券	166,278	167,007
その他	161,750	26,765
貸倒引当金	△87,107	△6,043
投資その他の資産合計	240,922	187,729
固定資産合計	3,157,336	3,033,043
資産合計	7,702,377	7,611,827

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金等	586,410	682,606
短期借入金	490,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	926,860	890,820
未払法人税等	22,099	4,258
賞与引当金	56,582	25,246
完成工事補償引当金	1,171	579
資産除去債務	46,050	—
その他	743,238	743,291
流動負債合計	2,872,413	2,946,802
固定負債		
長期借入金	2,891,328	2,710,078
役員退職慰労引当金	38,318	39,719
退職給付に係る負債	143,587	146,865
資産除去債務	9,877	9,924
その他	217,468	214,834
固定負債合計	3,300,579	3,121,421
負債合計	6,172,992	6,068,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,980	684,980
資本剰余金	512,980	512,980
利益剰余金	299,102	313,623
自己株式	△800	△800
株主資本合計	1,496,262	1,510,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,121	32,663
繰延ヘッジ損益	—	155
その他の包括利益累計額合計	33,121	32,818
純資産合計	1,529,384	1,543,602
負債純資産合計	7,702,377	7,611,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)
売上高	2,158,596	1,525,966
売上原価	1,876,593	1,243,294
売上総利益	282,002	282,672
販売費及び一般管理費	309,239	233,216
営業利益又は営業損失(△)	△27,237	49,455
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	977	1,054
仕入割引	280	165
受取賃貸料	2,645	7,637
その他	21,232	7,364
営業外収益合計	25,144	16,231
営業外費用		
支払利息	22,343	13,510
その他	34,496	5,194
営業外費用合計	56,840	18,705
経常利益又は経常損失(△)	△58,932	46,981
特別利益		
固定資産売却益	15,054	3,934
役員退職慰労引当金戻入額	70,340	—
特別利益合計	85,394	3,934
税金等調整前四半期純利益	26,461	50,915
法人税、住民税及び事業税	3,968	2,642
法人税等調整額	△2,929	16,440
法人税等合計	1,038	19,083
少数株主損益調整前四半期純利益	25,423	31,832
四半期純利益	25,423	31,832

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,423	31,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,045	△458
繰延ヘッジ損益	△28	155
その他の包括利益合計	1,017	△303
四半期包括利益	26,440	31,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,440	31,529
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	1,602,967	351,338	183,567	20,721	2,158,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,602,967	351,338	183,567	20,721	2,158,596
セグメント利益又は損失(△)	19,405	△26,972	7,621	12,217	12,272

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	12,272
セグメント間取引消去	3,731
全社費用(注)	△43,240
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△27,237

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成26年11月1日 至 平成27年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	1,167,109	231,704	105,228	21,923	1,525,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,167,109	231,704	105,228	21,923	1,525,966
セグメント利益又は損失(△)	121,758	△36,177	△3,826	14,603	96,357

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	96,357
セグメント間取引消去	692
全社費用(注)	△47,595
四半期連結損益計算書の営業利益	49,455

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。